

松川町ゆうきの里を育てよう農産物

参加型認証制度実施要項



松川町ゆうきの里を育てよう連絡協議会

松川町ゆうきの里を育てよう農産物参加型認証制度実施要項

令和 7 年 4 月

1. 目的

松川町では環境保全型農業を推進し、持続可能な農業、暮らしを守るため、令和 5 年 3 月、オーガニックビレッジ宣言を行いました。「松川町ゆうきの里を育てよう連絡協議会」（以下「協議会」という）では、環境に配慮した栽培方法で栽培している生産者グループと連携し、農産物を学校給食へ届けています。食の安全や環境に関心が高まる中、生産者が一定の栽培方法に基づいて栽培した農産物を認証することにより、信頼の確保、ブランド化を図り、地球温暖化対策や低炭素社会の実現などを視野に入れた、環境と調和のとれた農業を推進することを目的とします。

2. 定義

(1) 「認証された農産物」とは

環境に配慮した適正な土づくりを行った圃場において、生産された農産物を「松川町ゆうきの里を育てよう農産物」として認証する。

(2) 「参加型認証」とは

地域に焦点を当てた農業等の栽培過程による品質保証の取組で、松川町内の独自に生産物が環境に配慮した生産方法により生産されたことを認証するにあたり、消費者の参加を伴うものである。認証基準や認証費用等を決定することができ、当町では「松川町ゆうきの里を育てよう農産物参加型認証基準」（以下「認証基準」という）に適合した農産物を認証する。

(3) 認証を受ける生産者とは

協議会へ加入しているグループ所属の会員で松川町内の農地を所有、または借り入れて農産物を栽培している者のことをいいます。

3. 参加型認証の認証基準を決定する消費者

(1) 「松川町ゆうきの里を育てようサポータークラブ」（以下「サポーター」という）への加入により、希望する品質保証を確認するための、審査（現地審査）参加することができる。

(2) サポーターの意見等により、圃場の見学会、試食会等の企画を行い、新規サポーターの募集や、参加型認証による松川町の参加型認証農産物の PR を行うことができる。

4. 認証基準について

(1) 対象とする作目・品目等

環境に配慮した適正な土づくりや栽培方法により栽培された農産物とし、品目を選ばない。

(2) 認証区分

4 つの取り組みにおいて認証を実施。

「長野県における持続性の高い農業生産方式の導入に関する指針」及び、

「松川町の有機栽培のすすめ」により土づくりを総合的に実施し、1 つでも取り組みがあれば、認証の対象とする。

1 農地	赤	☆	☆☆	☆☆☆	☆☆☆☆	☆☆☆☆☆
	土壌消毒 除草剤	1 年以上使 用しない	2 年以上使 用しない	3 年以上使 用しない	4 年以上使 用しない	不使用を 継続
※生産管理 2 化学肥料 3 化学農薬	青	☆	☆☆	☆☆☆	☆☆☆☆	☆☆☆☆☆
	化学肥料	30%削減	50%削減	70%削減	化学肥料 不使用	不使用を 継続
	緑	☆	☆☆	☆☆☆	☆☆☆☆	☆☆☆☆☆
	化学農薬	30%削減	50%削減	70%削減	化学農薬 不使用	不使用を 継続
4 育土	黄	☆	☆☆	☆☆☆	☆☆☆☆	☆☆☆☆☆
	土壌育土	炭の投入	たい肥の 投入	植物性有機 資材の投入	緑肥の活用	除草剤・土 壌消毒・化 学農薬・化 学肥料不使 用で育土を 継続

※生産管理等の基準

- ・長野県の地域慣行施肥量及び地区農薬使用回数を 100 として、削減数をカウントしたうえで、削減率を計算する。

5. 認証の申請

- (1) 原則として、協議会へ加入しているグループ所属の会員で、松川町内の圃場を所有または借り入れて、農産物を栽培している者
- (2) 申請は品目単位とし、栽培した圃場ごと行う。
- (3) 松川町ゆうきの里を育てよう農産物の参加型認証を受けようとする者（以下「参加型認証申請者」という）は、松川町ゆうきの里を育てよう農産物参加型認証申請書（以下「申請書」という）に松川町ゆうきの里を育てよう農産物栽培履歴（以下、「栽培履歴」という）及び審査料 1000 円を添えて、協議会会長宛に申請する。
- (4) 参加認証を受けた際の認証票の利用方法を明示すること。
- (5) 申請書は収穫 1 か月より前に提出すること。

6. 審査

審査は、協議会で決定した基準により、一般社団法人グリーンみらい・まつかわが行います。

- (1) 書類審査・・・栽培履歴の内容を確認、審査します。
- (2) 現地確認調査・・・収穫前（できるだけ直前）に実施します。
 - ① 申請書を提出後、栽培記録にとどめる必要がある内容をまとめておいてください。

- ② 生産者本人及び、グループ内の会員 1 名以上の立会いをお願いします。
- ③ 現地確認にはサポーターが参加する場合があります。
- ④ 現地確認の結果、認証が認められない場合があります。認証が認められない場合でも申請料 1000 円は返還しません。

7. 参加型認証の決定

申請書の内容が認証基準を満たすと認められた時は、農産物を認証するとともに、次に掲げる事項について、条件を付して認証票の使用を許可します。

- (1) 認証票の使用期間は、認証された日から認証された農産物の販売予定期間まで。
- (2) 認証された農産物の販売または出荷の数量は、申請した範囲内とする。
- (3) 申請した表示方法で行うこと。
- (4) 認証票はデータにてお渡しするほかに、認証シール A4 サイズに 40 個を印字したシートを 5 枚お渡しします。

8. 認証の公表

農産物の内容（生産団体名および生産者名、品目名、認証区分、認証番号、審査時の農産物の写真等）については、松川町のホームページにおいて公表します。

9. 認証番号及び認証票の様式

- (1) 07（年号）・認証番号
- (2) 認証票の様式・・・



10. 認証の表示

- (1) 認証票は、認証を受けた農産物へ添付するか、容器包装類への添付または印刷による。
- (2) 農産物への表示の他、販売のための広告、ポスター、ポップ等へ掲示、HPでの掲示も可能。

11. 認証の取り消し等

次のいずれかに該当すると認める場合は、認証の取り消しを行います。

- (1) 認証票が不正に使用された場合
- (2) その他、協議会長が特に認定取り消しが適当と認めた場合

12. 認証を受けた者の遵守事項

- (1) 認証農産物生産者は、「認証農産物」の適正な生産、販売若しくは出荷及び品質管理に努めるとともに、次の事項を遵守してください。
 - ① 生産、販売、出荷、品質管理、土づくりの状況、農薬、肥料・土壌改良資材の購入使用状況、並びに認証票の使用・保管等の事項について記録し、これらの記録を生産年から起算して3年間 保管すること。
 - ② 認証票は適正な使用及び管理を行うこと。
 - ③ 現地確認調査の実施に際して、協力すること。
 - ④ 生産過程等に関する情報を消費者及び流通業者等に積極的に提供する等の方法により、相互の 理解と信頼の向上に努めること。
- (2) 「認証農産物」の流通・販売過程において、消費者等との間で認証に係る問題が発生した場合、認証の取消し及び認証票の使用の一時中止又は改善指導の実施により損失が生じた場合は、認証を 受けた者がその責を負うものとしします。

13.その他

- (1) 「認証農産物」を生産、流通及び販売する者は、認証票と誤認される恐れのある表示を行ってははいけません。
- (2) 流通業者又は販売業者等が、認証農産物を取り扱うにあたり、新たに農産物等に認証票を貼付又は印刷など行う場合は、次の事項にご留意ください。
 - ① 流通業者又は販売業者等が、認証農産物を取り扱うにあたり、新たに農産物等に認証票を貼付又は印刷など行う場合は、印刷物のデザインについて、協議会長に許可を得るものとする。
 - ② 協議会長は、申請内容が適正であると認める場合は、使用を認めるものとする。
 - ③ 協議会長は、必要と認めるときは認証票の使用状況を確認することができるものとする
- (3) 以下の事項に該当する認証農産物生産者からの認証申請は受理できなくなりますのでご注意下さい。

認証票の不正使用や現地確認調査に応じなかった場合又は事実上偽りが認められたことにより、認証登録を取り消された者(認証農産物生産者)。

14.サポーターとのコミュニケーション

- (1) 生産者、消費者、その他の関係者の相互理解を深めるため、協議会及びサポーターが企画する圃場見学ツアーを定期的実施する際、できる限りの受け入れ態勢を整えてください。

松川町ゆうきの里を育てよう農産物参加型認証 申請書

協議会長 宛

申請者

グループ名

住所

氏名

連絡先

電話番号

FAX 番号

Email

アドレス

ホームページ

URL

松川町ゆうきの里を育てよう農産物参加型認証実施要項第 5 条第 3 項の規定に基づき、下記のとおり申請します。

記

添付書類 松川町ゆうきの里を育てよう農産物栽培記録（様式 1）
様式 1 の栽培記録のほかに、栽培日記等、詳細な栽培記録

（様式 1）

松川町ゆうきの里を育てよう農産物栽培記録

1. 申請者

グループ名

住所

申請者氏名

電話番号

2. 農産物の栽培記録

認証を受けようとする品目	
認証を受けようとする圃場	
栽培面積	
栽培期間	
収穫期間（予定）	
現地調査希望時期 （収穫開始直前）	

3. 土づくりの概要

(1) 直近の土壌診断実施年月 年 月

診断結果に 基づく土づく りの方針	
-------------------------	--

(2) 過去 5 年間及び今年度の土づくりの経過

今年度	
昨年	
一昨年	
3 年前	
4 年前	
5 年前	

(2) 今年度使用した、土壌改良剤等（緑肥含む）その他資材の施用実績

種類・名称	施用量	成分名および成分量	備考

4. 肥料の施用実績

	30%削減	50%削減	70%削減	不使用	不使用継続
化学肥料					

種類・名称	施用量	成分名および成分量	備考
-------	-----	-----------	----

5.農薬の施用実績

	30%削減	50%削減	70%削減	不使用	不使用継続
農薬					

種類・名称	施用量	成分名および成分量	備考

6.認証ラベル使用内容

	利用媒体・部数
ラベルシール	
印刷	

※ 協議会にて記入します

認証の可否

認証日

認証番号